

船形山(御所山)・丹生川(にゅうがわ)道元峡～層雲峡

チーム Knees 膝にキズ持つ者たちの無理のない沢登り

日時: 前夜発 2023 年 8 月 26 日~27 日

メンバー: I 崎、K 林、A 原

膝痛がなかなか完治しない。8.5 割ほど良くなってきたところで山に行きヒザを使うから、また振り出しに戻るありさま。いっそ 2 ヶ月ほど山を辞めればいいのだけどガマンなんね。

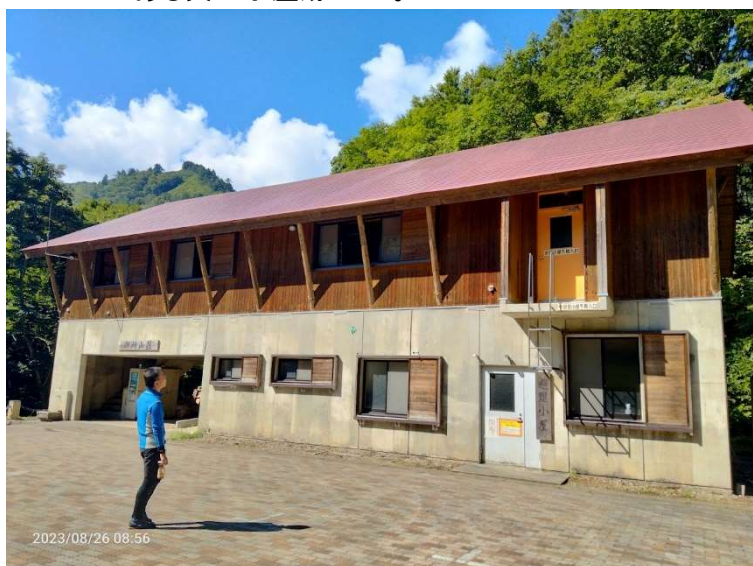
今回の山行は、船形山への登山ルートのひとつで「沢沿いに行く一般登山ルート」。渓谷の岩壁には鎖がベタ打ちらしく、沢に慣れた者であれば鎖を使うこともなく水流通しで行ける容易なルートのようなのだ。

しいわく、日帰りルートだけど敢えて泊りでのおんびり行く癒し山行だよ～、とのこと。

Knees ならではのヒザに優しい山行に違いない。たぶん、きっと、ねっ？ねっ？

集合は金曜の夜、館林駅。私は乗り過ごしてしまい 10 分ほど遅刻。
仮眠は山形線某無人駅。気持ちよく寝入ったところいきなり明かりが付きそれ以降は目隠しをして寝た。

8/26(土)6 時に起床し登山口に移動。
御所山荘は立派な建物で、山荘の一部は避難小屋として利用できてとても快適そうだ。いつか泊まりにこよう♪
懸念したアブはほとんど見当たらず安心した。小屋で準備や荷分けをし、小屋からほんのちょっと車で移動し登山口である夫の小屋跡 P へ。



9:00 歩き出し。入渓ポイントまで丹生川をはるか下に見下ろす道に行く。途中、大崩壊地をトラバース。
9:25 沢への下降地点は「第二連絡路」という看板のそこから急な階段を降りる。いてて。今回の 3 人はヒザにキズもつ 3 人。階段の一步一步が慎重になる。
やがて沢に降り立つと、青白い水が美しい。
渓谷の側壁にはトラバース用の鎖がついているが、暑さもあり積極的に水に浸かりながら行く。
ところどころ鎖が岸壁のはるか上の方についていて、一般の登山者が行くには鎖コースは危険臭がぷんぷんだ。頑丈な鎖とはいえ、絶壁&高度であんなとこ一般登山道にしているのか?!
鎖は渓谷の右か左についているが、対岸に渡る際は水量次第では結構シビアなものになるだろう。

材木岩と呼ばれる柱状節理となる。材木を縦に重ねたようなその見事な自然の造形美にあっけにとられる。

夏のキラキラの陽射しがコバルトブルーの水面を美しく際立たせている。きれいだなあ。こんなブルーな沢にお魚はいなからうと思ったがしは魚影があったとのこと。ホンマかいな。

竜ヶ滝。4mほどの滝で易しく越えられる。

釜やゴルジュでは足がつかないヘツリがあるがこの時季ならそれも楽しい。

歩き出して2時間でクラビ沢出合。ここまでが道元峡で、ここからが層雲峡。青白い水はここまでで、この出合後は澄んだ水となった。家のような大岩が多い。

平瀬になり兩岸にテラスのような岩のレーンが出てきてしばらく続く。自然に侵食されたものなのだろうか？

赤い石や岩盤が多くなってきた。澄んだ水はやがてオレンジの鉄色になってきた。

飽きてきたなあ、と思っところ突然 12:47 大沢小屋が現れた。

赤いお屋根に窓枠が白くてテラスがあって緑の森の中のそのたずまいは、ジブリ作品に出てくるようなおしゃれな建物だ。

後で知ったことだが、大沢小屋はかつては営林署の別荘だか保養所だったとのことだ。おしゃれな小屋は近づいてみるとかなり傾いている。入口の扉はそのせいで開けづらい。

中に入ると囲炉裏が切っており、五右衛門風呂があったりで泊ってみたい気がするが協議の結果、河原で泊まることにした。

五右衛門風呂で由美かおるの「かげろうお銀ごっこ」は次回におあずけよ。

時間が早いので、今日のうちに御宝前大滝に行くことにした。

酸が強い沢で石はオレンジ色に染まっている。枝沢が交じるころでは、朱い流れと澄んだ流れが2本の帯となって流れる。



眼前に大きく崩壊した峰が見え、沢は右に曲がると突然巨大な滝が出た。40mはあろうか見事な滝だ。水しぶきが気持ちいい。記念撮影をし、14:40 テンバに戻る。

タープを張り、薪を集め、ビールを冷やし、小屋のそばにあったミズの実を摘み、宴会の準備をする。

流れている沢もテンバの対岸から落ちる沢も鉄臭いので、大沢小屋の脇の沢水を使った。

虫はほとんどいなく瀬音を聴き、満天の星空を仰ぎ、タープを通る夜風も気持ちよかった。

8/27(日)朝はちょっと曇っていた。のんびり朝食を済ませ、7:13 出発。沢を下降し、第四連絡路から道にあがる。

このあたりは遠いむかし林業が盛んだったらしくかつてはトラックが行き来したという車道や手掘りトンネルが時代の忘れ物のように朽ち果てて、自然の中の風景になろうとしていた。

9:38 夫の小屋跡 P 到着。握手。

お風呂は御所乃湯 400 円。そこの売店で尾花沢スイカが 500 円で売っていたので風呂上りに買おうと思っていたら別のお客に買われてしまった。ちっ。

ダメもとで、もう無いですよ？と聞いたら、打上げを近くのお蕎麦屋さんに行くと行ったらそこまで届けてくれるとのこと。なんと！

I 崎さんと私が 1 ケづつ購入。

おじいちゃんとおばあちゃんが蕎麦屋さんまで届けてくれた。さらにおまけで大きなサツマイモ。

スイカで重~くなったバックでさらにヒザを酷使うことになってしまった。はは。

道元峡～層雲峡。いい沢でした。盛夏に訪れじゃぶじゃぶ遊ぶのもいいし、紅葉の頃に行くのもよさそう。

コバルトブルーの流れや珍しい柱状節理も一見の価値あります。

沢慣れた人なら沢通しで行ってもいいし、濡れたくなければ鎖を使えばいいと思います。アスレチック気分を味わえるでしょう。

傾いた大沢小屋の五右衛門風呂でお銀ごっこするのも一興。

I 崎さん、K 林さん、お世話になりました。チーム Knees でまたヒザに優しい山行しましょう。

チーム Knees メンバー絶賛募集中です！（でもほんとはチーム抜きたい...）

コースタイム

8/26(土) 9:00 夫の小屋跡 P～9:25 道元峡遡行～11:10 クラビ沢出合(層雲峡遡行)～12:47 大沢小屋～14:00 大滝～14:40 テンバ

8/27(日) 7:13 テンバ～8:30 第四連絡路～9:38 夫の小屋跡 P

おしまい

